

2019年3月期 第3四半期決算補足説明資料

本州化学工業株式会社

2019年2月8日

2019年3月期第3四半期事業環境

1. 経済環境

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の影響や海外経済の不確実性等のリスク増加があったものの、堅調な雇用・所得環境や設備投資の増加等により景気の緩やかな回復基調が継続しました。

2. 当社グループの事業環境

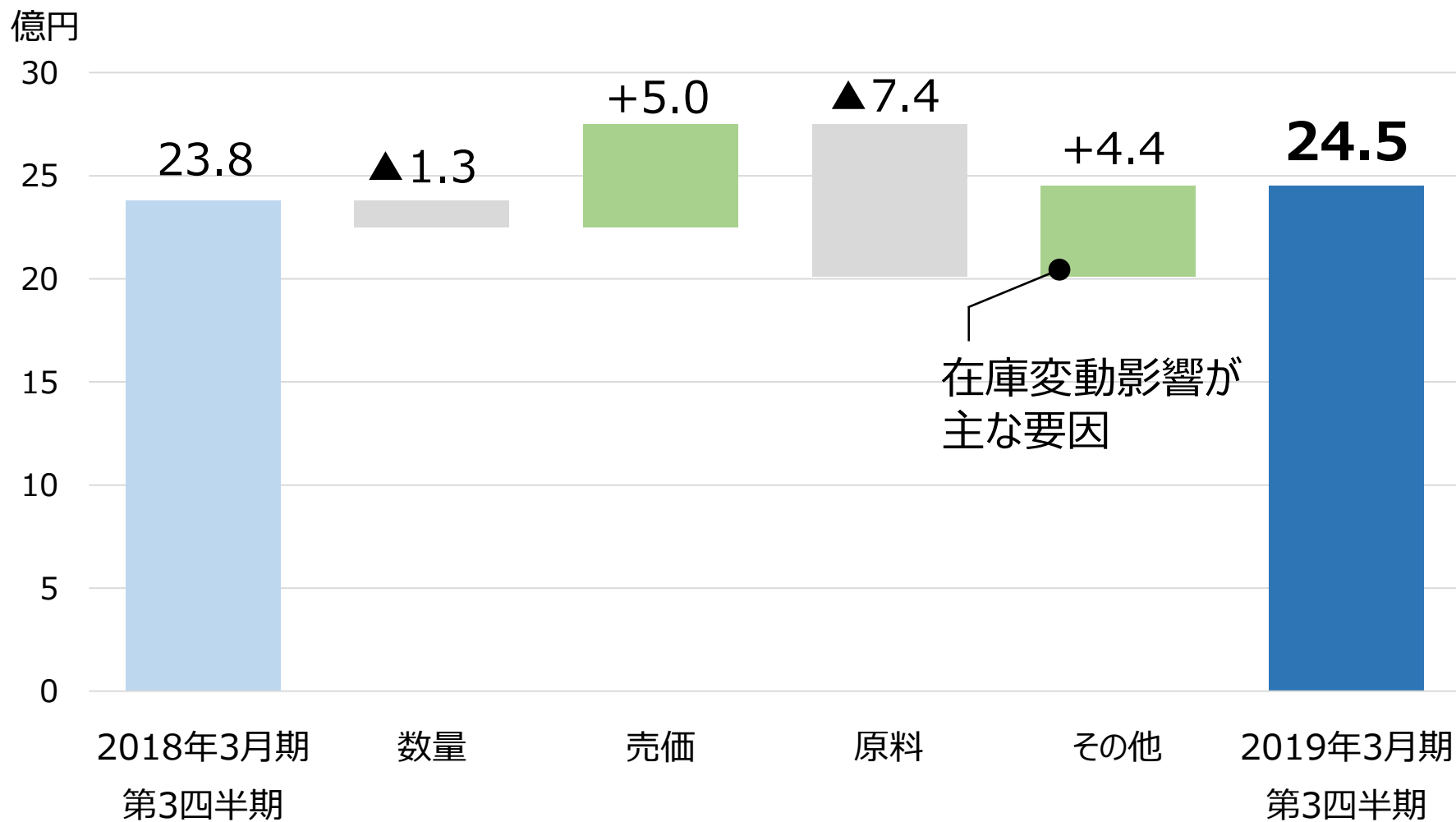
当社グループを取り巻く事業環境は、自動車市場や情報関連財市場の成長に減速が見られたものの、電子材料の開発品やビタミンE原料の販売増を受け順調に推移しました。

2019年3月期第3四半期連結決算

摘要	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期		2019年3月期 業績予想 (11月6日発表)	進捗率
		増減率	増減率		
売上高	146.6	148.4	+1.2%	215.0	69%
営業利益	23.8	24.5	+2.9%	32.0	77%

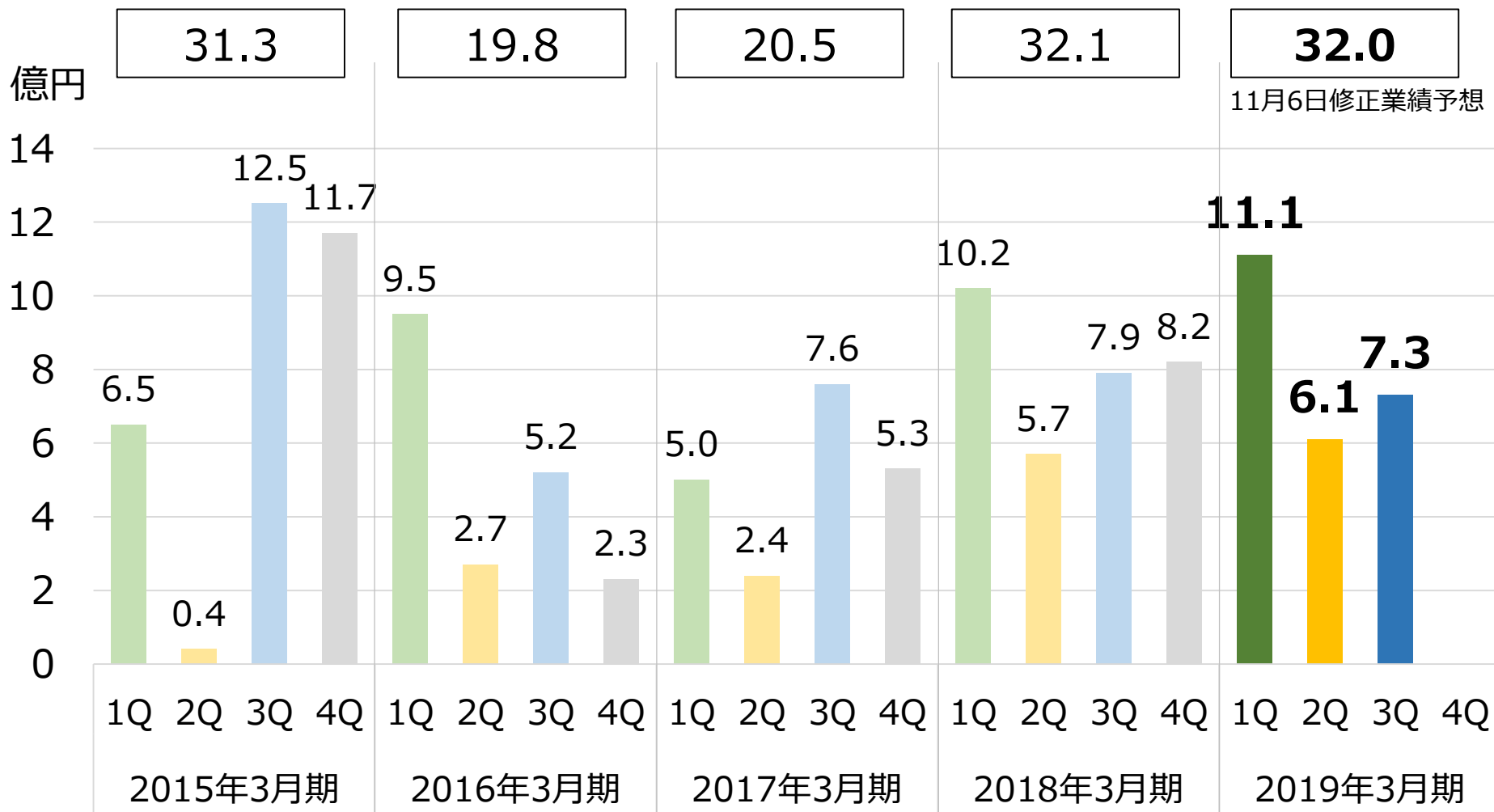
■事業環境は減速気味なるも、第三四半期連結累計期間として過去最高益を達成(ROSも16.6%で過去最高値)

営業利益増減分析(対前期同四半期)





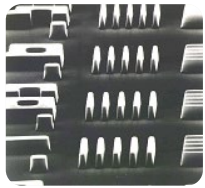

■原料高を価格でカバー

四半期別営業利益推移(連結)



■ 2019年3月期は計画通り順調に推移

当社事業セグメント

事業セグメント	主な製品	主な用途	
化学品セグメント	ビフェノール	スーパーエンブラ樹脂原料 (LCP:液晶ポリマー、 PPSU:ポリフェニルサルホン) エンブラ樹脂原料	
	トリメチルフェノール クレゾール誘導品	ビタミンE原料(飼料用) 農薬、電子材料 酸化防止剤	
機能材料セグメント	電子材料 光学用特殊ビスフェノール	フォトレジスト用添加剤 フォトレジスト用樹脂原料 特殊ポリカーボネート樹脂原料 特殊エポキシ樹脂原料	
工業材料セグメント	自動車用特殊ビスフェノール 受託品	特殊ポリカーボネート樹脂原料	

セグメント別売上高・営業利益

売上高

営業利益

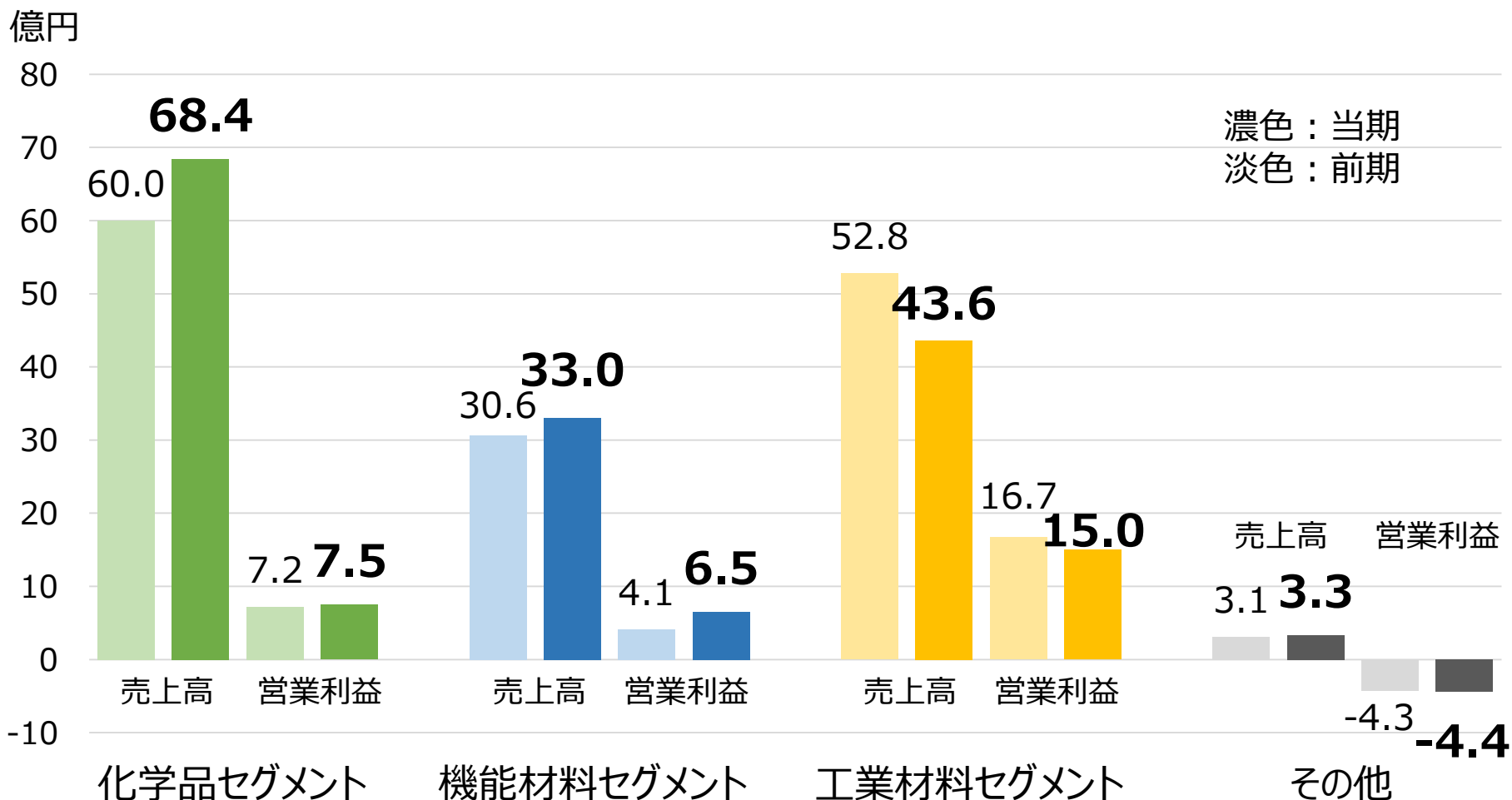
	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減
化学品セグメント	60.0	68.4	+8.3	7.2	7.5	+0.2
機能材料セグメント	30.6	33.0	+2.3	4.1	6.5	+2.3
工業材料セグメント	52.8	43.6	▲9.1	16.7	15.0	▲1.6
その他*	3.1	3.3	+0.2	▲4.3	▲4.4	▲0.1
合計	146.6	148.4	+1.7	23.8	24.5	+0.7

(億円)

■化学品及び機能材料の両セグメントで増収増益を達成

*その他区分の売上高や営業利益には、報告セグメントに含まれない用役の販売や、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれています。

セグメント別売上高・営業利益前期同四半期比較



■化学品及び機能材料の両セグメントで増収増益を達成

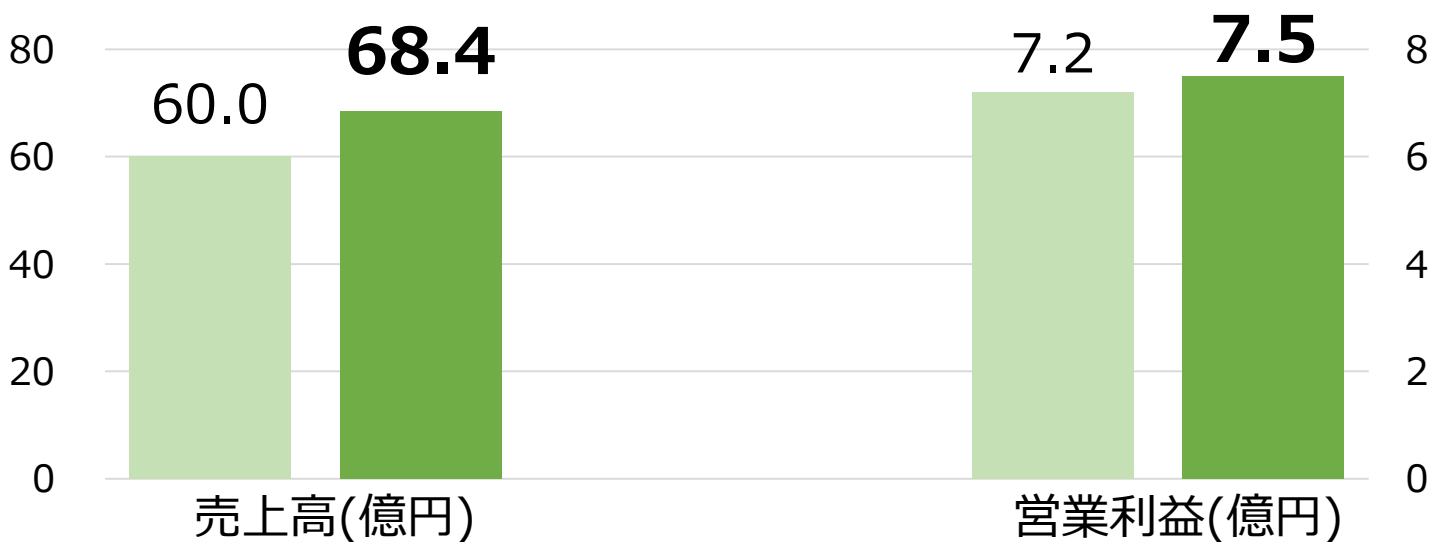
*その他区分の売上高や営業利益には、報告セグメントに含まれない用役の販売や、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれています。

セグメント別事業概況 <化学品>

ビフェノールは、LCP/PPSU向け共に需要は堅調に推移しましたが、前年同四半期に発生した一時的需要との差異で売上高はやや下回りました。

クレゾール誘導品は、ビタミンE原料の販売が伸び、市況も大幅に上昇し、売上高は前年同四半期を大幅に上回りました。

この結果、化学品セグメントの営業利益は、前年同四半期を上回りました。

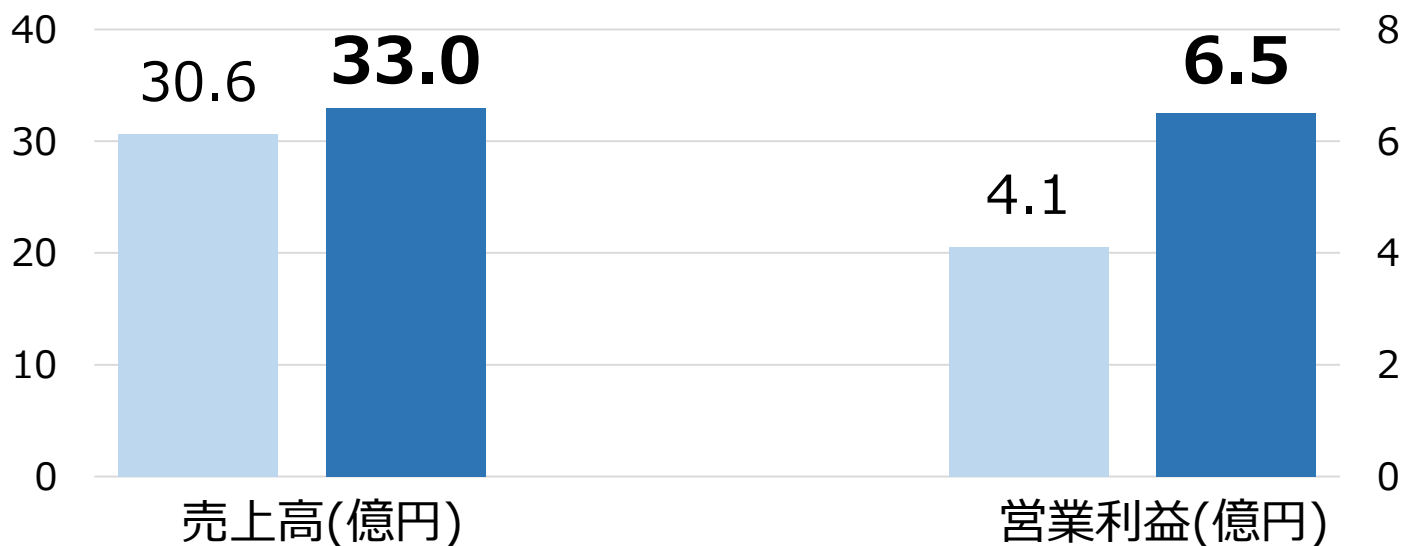


セグメント別事業概況 <機能材料>

電子材料は、半導体・フラットパネルディスプレイ市況に若干の減速傾向は見られたものの、当社販売は堅調に推移し、開発品の伸長も寄与した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

光学用特殊ビスフェノールは、スマートフォン販売不振から光学レンズ生産数量は減少に転じましたが、当社販売は堅調に推移し、売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

機能材料セグメントの営業利益は、在庫増減の影響もあり前年同四半期を上回りました。

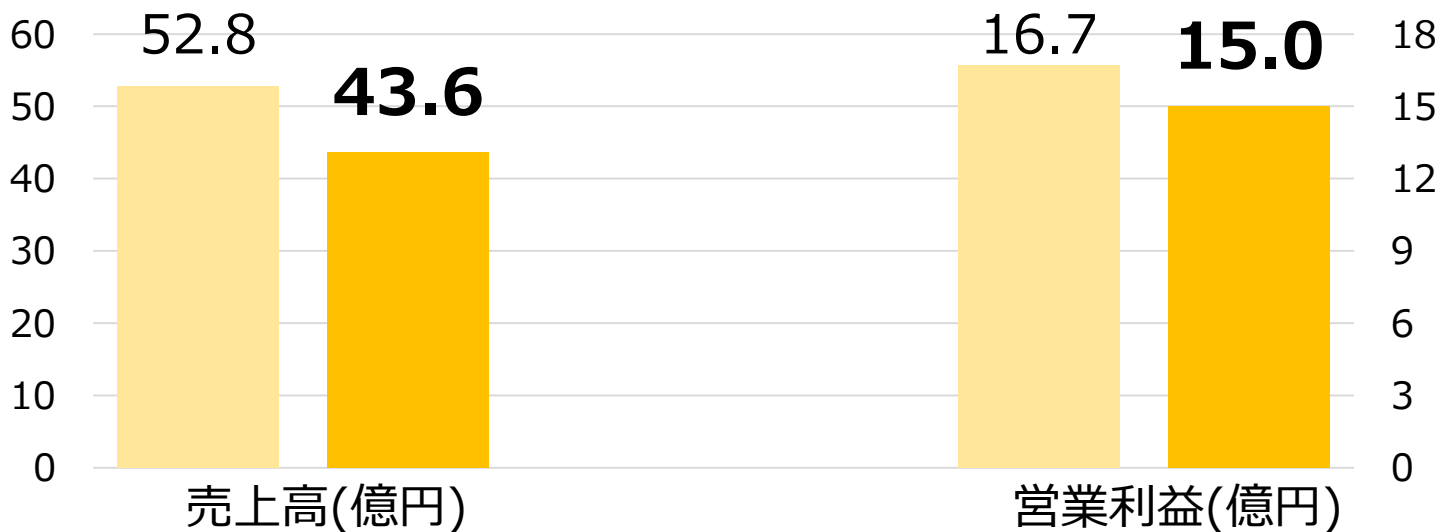


セグメント別事業概況 <工業材料>

自動車用特殊ビスフェノールは、為替変動の影響に加え、自動車市場全般の落ち込みの影響を受け、売上高は前年同四半期を下回りました。

受託品は、受託契約の一部が終了したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料セグメントの営業利益は、前年同四半期を下回りました。



2019年3月期連結業績予想

(億円)

摘要	2018年3月期 実績	年初計画 (5月15日発表)	2019年3月期		増減額	増減率 (%)
			修正予想 & 今回予想 (11月6日)			
売上高	200.9	215.0	215.0		0.0	0.0%
営業利益	32.1	28.0	32.0		+4.0	14.3%
経常利益	31.3	27.0	31.0		+4.0	14.8%
親会社株主に帰 属する当期純利益	17.2	13.5	16.5		+3.0	22.2%

■2019年3月期の連結業績予想は修正予想(11月6日発表)の通り

期末配当予想

■ 期末配当金及び年間配当金は前期と同じ

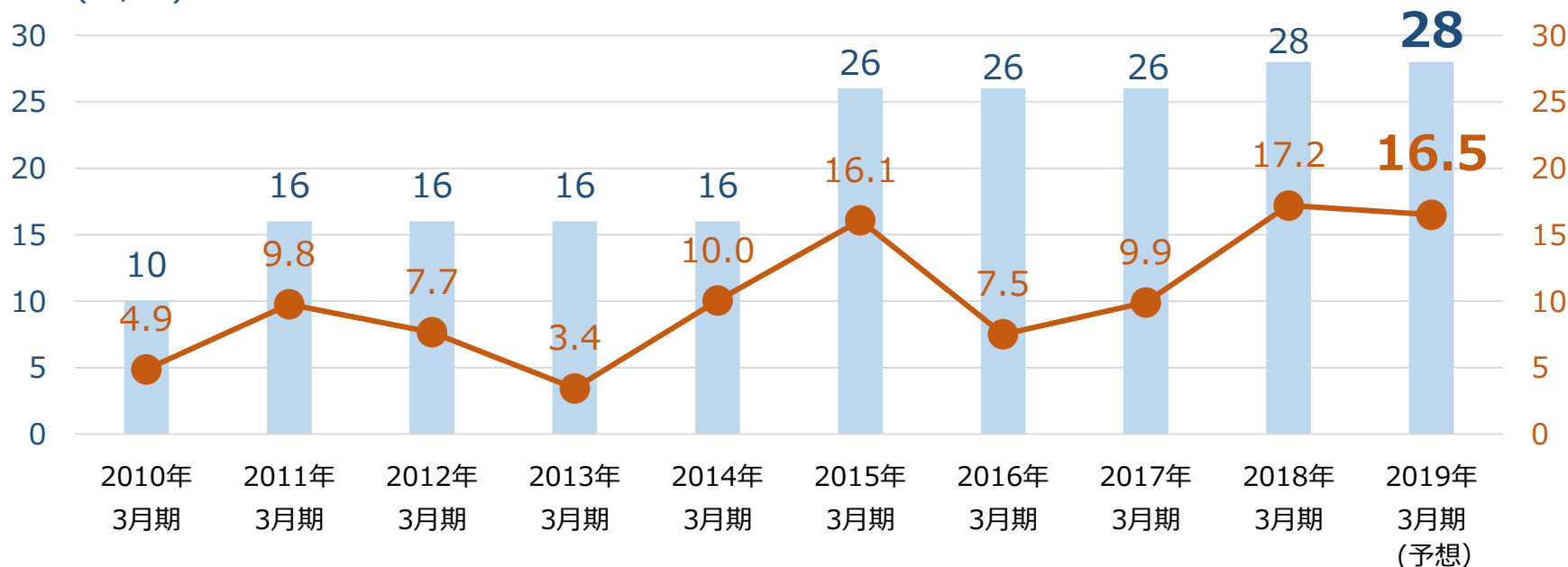
年間配当金

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2019年3月期(実績と予想)	—	10.00	—	18.00	28.00

配当金(円/株)

一株当たり配当実績推移

当期純利益(億円)



<お問い合わせ先>

本州化学工業株式会社 IR担当

E-mail : ir@honshuchemical.co.jp

本資料における将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証をあたえるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。